

ゆきのこ ひらり



むらさき ぴんこ

ゆきのめがみさまの こどもたちは、
さむいさむい ふゆのあいだ、
なんどもなんども そらのうへと だいち のあいだを いったり きたりして、

だいちのうへの こどもたちを よろこばせたり、
ゆきだるまになったり、
ゆきがっせんの たまに なったり、
さみしい きや くさのうえに おりて かざってあげたり、
みずうみに おりて すいすい スケートができるくらい かたまらせたり。

まっしろな せかいを つくります。

ゆきのこ ひらり も、
ゆきのめがみさまの こどもたち 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10...
とにかく かぞえきれない たくさんのこどもたちのうちの ひとりでした。

ちいさな ちいさな ゆきのこ ひらりは、あまえんぼう。
いつもおねえさんと くっついて
おおきなそらを とぶのです。

